

平成26年度事務事業評価調査

整理番号	11	枝番	1
評価担当課	建設水道部都市整備課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	普通河川の維持整備事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	4	防災対策の充実
		基本事業	2	治山・治水
		実施計画事業	2	治水事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	河川の護岸整備等を行うことにより、降雨や融雪水による災害の予防保全を図る。			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	河川をふとんカゴや土のう等で護岸したり管理用道路を補修する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	河川の整備・修繕を行うことにより、災害の予防保全の観点等から安全なまちづくりに寄与する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 <input checked="" type="radio"/> 請負 <input type="radio"/> その他( )
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	<input checked="" type="radio"/> (終期 H28 年度) <input type="radio"/> 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (H28年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 整備計画延長	m	目標	1070	1113	789	895	10000
			実績	1070	1113	789	895	—
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 目標率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	—	—
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	11,125	16,157	20,211	17,238	紅葉川改修工事 C=6,856千円 L=55m [ふとんカゴ]
国道支出金	0	0	14,448	0	大和川河川改修工事 C=2,215千円 L=32m [ふとんカゴ]
地方債	0	0	0	0	普通河川改修工事(日彰川) C=2,730千円 L=16m [ふとんカゴ]
その他	0	0	0	10	普通河川改修工事(福徳川) C=4,861千円 L=450m [土砂浚渫]
一般財源	11,125	16,157	5,763	17,228	普通河川改修工事(平和川) C=1,932千円 L=200m [土砂浚渫]
人件費	2,673	1,988	1,940	1,940	丸三川河川改修工事 C=966千円 L=36m [大型土のう]
平均給与額	6,683	6,628	6,468	6,468	無名川水位通報装置設置工事 C=539千円 [通報装置設置]
担当職員数	0.40	0.30	0.30	0.30	
総事業費	13,798	18,145	22,151	19,178	
対前年比(%)	—	132	122	87	コストの算出方法
事業コスト	13	16	28	21	総事業費(千円) / 整備延長(m)
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 ( ) <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。安全安心な市民生活を送るうえで、降雨や融雪水による洪水災害等を解消するためには必要な事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	防災の予防保全について不可欠な事業である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	河岸の崩れや河川の雑木等に対する要望箇所が多く、計画的に行うことで経費が抑えられる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなかい？	a	河川修繕は公共性のある事業なので、受益者負担の対象とはならない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	活動指標、成果指標とも達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	毎年度、修繕の必要性のある河川を選定し、市民からの要望等に応えている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり